令和６年２月２７日

会員先生　各位

一般社団法人草加八潮医師会
会　長　　内　藤　毅　嗣

令和５年度　第１０回草加八潮医師会定例理事会報告

日　　時　令和６年２月１６日（金）
　　午後７時５０分から
場　　所　草加市役所第二庁舎４Ｂ会議室

開会宣言（総務渉外・災害・感染担当理事）
　ただいまより理事会を開催します。

会長挨拶（医師会長）
　さっそく会議を進めてまいります。

議　　長（医師会長）
１　協議事項
（１）　令和６年度収支予算（案）について
　３月２２日（金）開催予定の臨時社員総会に議案として提出し、議論いただく予定です。一般会計、准看護学校特別会計、医師会館特別会計、訪問看護ステーション特別会計など項目別に前年実績等を加味し、予算積算し、（案）を作成し、それを参考に正味財産増減計算書に作り込みをいたしました。准看護学校特別会計、訪問看護ステーション特別会計は、厳しい予算となっています。
　⇒意見交換では、基本的には問題はないと思われますが、内容をもう一度確認、何か意見等があれば事務局まで連絡することになりました。

（２）　令和６年度事業計画（案）について
　収支予算(案)同様、３月２２日（金）開催予定の臨時社員総会に議案として提出し、議論いただく予定です。医師会全体の総括、各理事担当の項目などについて、前年実績等を加味するなか（案）を作成しました。それぞれ内容確認いただきたいと考えます。
　⇒意見交換では、基本的には問題はないと思われますが、内容をもう一度確認、何か意見等があれば事務局まで連絡することになりました。

（３）会員の変更（B→A会員）について
・氏　　名　　松本（まつもと）　純一（じゅんいち）先生
・病　院　名　　松本医院
・住　　所　　草加市松原２－２－７
・標榜科目　　消化器内科、内科
・推　薦　者　　金子　幸二先生
・入会希望年月日　令和６年４月１日
⇒協議の結果、委員長に虎溪　則孝先生、委員に水野　英雄先生、今城　眞臣先生をお願いし、入会審査委員会を開催することになりました。

（４）会員の変更（A→B会員）について

・氏　　名　　松本（まつもと）　修一（しゅういち）先生
・病　院　名　　松本医院
・住　　所　　草加市松原２－２－７
・標榜科目　　消化器内科、内科
・変更年月日　　令和６年４月１日
⇒協議の結果、特に異論なく、変更を認める承認が得られました。

（５）会員の入会（A）について
・氏　　名　　松本（まつもと）　行弘（ゆきひろ）先生
・病　院　名　　アイケアクリニック
・住　　所　　草加市氷川町８２９
・標榜科目　　眼科
・推　薦　者　　神谷　達司先生
・入会希望年月日　令和５年１２月１日
⇒協議の結果、委員長に加藤　貴紀先生、委員に鈴木　美博先生、高橋　哲三先生をお願いし、入会審査委員会を開催することになりました。

（６）会員の退会（A）について
・氏　　名　　佐藤（さとう）　香（かおり）　先生
・病　院　名　　アイケアクリニック
・住　　所　　草加市氷川町８２９
・標榜科目　　眼科
・退会年月日　　令和５年１１月３０日退職
⇒協議の結果、退会を認める承認が得られました。

２　報告事項（進行・総務渉外・災害・感染担当理事）
（１）内藤 毅嗣 医師会長　　⇒　特にありません。

（２）松本 眞彦 県常任理事：副会長報告　　⇒　特にありません。

（３）佐藤 達也 県理事報告
・医療事故紛争処理状況解決事例（３件）について報告がありました。

（４）石井 裕二 副会長；総務渉外・災害・感染担当理事報告
・１月３１日に三師会合同新年会実行委員会を開催し、決算について了承されました。
・災害対策について、２月に草加市と八潮市の災害担当委員、市役所危機管理担当、保健センター担当と打合せを行い、災害マニュアルの策定を進めました。

・草加市の災害医療関係の会議が開催されました。（１／２５医療救護所体制構築ＷＧ会議　２／１３医療ニーズ対策サブＷＧ会議）

（５）渋谷 和治 副会長：保険担当理事報告
・令和５年度社会保険委員会・郡市医療保険担当理事合同会議の結果を配付します。
・介護認定審査報告詳細

草加市・八潮市介護認定審査報告		
	令和６年１月分	
	草加市	八潮市
認定審査申請件数	７６５	２６６
取り扱い件数	７５７	２５２
合議体開催日数	１９	８
一次判定結果数	７５７	２５２

（６）加藤 貴紀 地域医療担当理事報告
・胃内視鏡検診運営委員会を開催し、令和６年度は、６月から実施します。また、申込をしたが受診しない方が３０％程度います。

（７）神谷 達司 在宅医療・地域包括ケアシステム担当理事報告
・在宅医療サポートセンター実績（令和６年１月分）について、報告がありました。

（８）浅野 務 在宅医療・訪問看護ステーション担当理事報告
・訪問看護ステーション実績（令和６年１月分）について、報告がありました。

（９）福田 克彦 福祉厚生担当理事報告　⇒　特にありません。

（１０）高木 洋介 学校担当理事：杏の実会会長報告
・准看護学校で、眼科、耳鼻咽喉科の講師を探しています。
・准看護学校の二次募集に、１３人の応募がありました。

（１１）虎渓 則孝 学術担当理事報告
○２月１３日（火）学術講演会をWEBで開催しました。
演　　題　『ガバペンチノイドの可能性と課題～適切な治療を実践するコツ～』
演　　者　獨協医科大学　麻酔科学講座　主任教授　山口　重樹先生
○３月２７日（水）学術講演会をハイブリットで開催します。
会　　場　アークホール
草加市氷川町2148-1　アークプラザ５Ｆ
演　　題　『新規経口血糖降下薬の活用』
演　　者　南越谷健身会クリニック　院長　周東　祐樹先生
特別演題　『ゼロから始める！運動のある健康生活』
演　　者　獨協医科大学埼玉医療センター　糖尿病内分泌・血液内科
准教授　原　健二先生

（１２）粕谷 綾子 広報担当理事報告
・１月３１日に広報委員会を開催し第１０３号の医師会誌について校正作業をしました。
３月中旬納品予定
（１３）松本 修一 監事報告　⇒　特にありません。

（１４）平田 大介 監事報告　⇒　都合により欠席です。

３　その他
事務局から報告

○特定健診の電子化・請求業務会社の事業継承について
令和６年２月１日から、ＩＣｈｃｋ㈱から㈱インバウンドテックに事業継承されました。
○第１７９回埼玉県医師会臨時代議員会が開催されます。
日時：令和６年３月１４日（木）午後２時３０分
場所：埼玉県県民健康センター２階　大ホール
○能登半島地震災害（被災医療機関等）への支援金活動について
今日現在、５１万円振り込みがありました。
○八潮市薬剤師会で講演会を開催します。
日　時　３月２４日（日）午後１時から
場　所　八潮メセナ
演　題　「災害時におけるトイレ事情」
演　者　特定非営利活動法人日本トイレ研究所　代表理事　　加藤　篤

※次回以降の予定（理事会・総会）
○令和６年３月１５日（金）午後７時３０分　理事会
○令和６年３月２２日（金）午後７時３０分　連盟総会、社員総会
○令和６年４月２６日（金）午後７時３０分　理事会
○令和６年５月３１日（金）午後７時３０分　連盟執行委員会、理事会
○令和６年６月１４日（金）午後７時３０分　理事会（移動予定）
○令和６年６月２８日（金）午後７時３０分　連盟総会、社員総会、臨時理事会

令和５年度社会保険委員会・郡市医療保険担当理事合同会議の結果

（個別指導等における主な指摘事項）

① 診療録等

紙媒体の記録について：記載内容が判読できない、鉛筆で記載している

② 傷病名

傷病名の終了日や転帰の記載がない、医学的な診断根拠がない傷病名の記載

急性・慢性、部位、左右の区別、病型、詳細な傷病名の記載がないもの

レセプト病名をつけて保険請求しているものは、摘要欄への記載か病状詳記を作成して添付すること、長期にわたる疑い病名や急性疾患等の傷病名は適宜整理すること

③ 基本診療料等

慢性疾患等明らかに同一の疾病や傷病の診療を行った場合にもかかわらず、傷病名欄の診療開始日をより新しい日付に変更して、初診料を算定しているもの

健康診断を目的とする受診により疾患が発見された患者について、当該保険医が治療を開始した場合にもかかわらず、再診料を算定しているもの（健康診断や予防接種の料金に診察料も含まれるという解釈があり、初再診料を算定すると二重請求と見做される）

時間外加算：受診時間記載漏れ、常態として診療応需の体制をとっている時間に算定したもの

外来管理加算：問診や診察所見の要点について診療録への記載がないもの、同一日に他の傷病を別の診療科で再診し、処置やリハビリ等を行っているにもかかわらず算定しているもの

医師のオーダーによらず、自動的に算定しているもの

電話等再診料：患者や患者の看護に当たっている者から電話で意見を求められて指示した場合とは言えないものについて、電話での対応のみで診療録への記載が不十分なもの

入院診療計画書：計画書に「特別な栄養管理の必要性」「総合的な機能評価」の記載がないもの、患者交付用の計画書に主治医以外の担当者名・症状・総合的な機能評価、看護・リハビリ計画の記載がないもの

診療情報提供料：交付文書に紹介先医療機関等名の記載がないもの

④ 検査・画像診断・病理診断

検査の必要性について診療録への記載がない、検査結果が診療に反映されていない、セット検査指示で不必要なものまで算定している、医学的に必要性のないものまで算定している、段階を踏んで検査していないもの。外来迅速検体検査加算では文書による情報提供が望ましい

CT・MRI 検査で実施日と算定日が異なるもの、診療録に診断内容の記載がないもの

⑤ 投薬

適応外処方、過量投与、長期漫然投与、医学的診断根拠のない傷病目を付与して投与、用法外投与例、予防的抗菌薬投与例

注射：経口投与が不可能な場合、経口投与で治療効果が期待できない場合、特に迅速な治療を要する場合にその必要性について診療録に十分な記載をすること

リハビリテーション：診療録への医学的な必要性や有効性の評価の記載が不十分

⑥ 手術・処置

創傷処置・熱傷処置で処置内容や処置範囲・部位の診療録への記載がない

手術：実際には処置であるものを手術として算定しているもの、手術記録の診療録への記載がないもの

⑦ 掲示・届出事項等

診療時間、診療日、診療科の変更

保険医の異動（採用及び退職、常勤から非常勤、非常勤から常勤）

明細書の発行状況に関する事項の掲示（一部負担金等の支払いがない患者に関する記載がないもの、明細書交付の希望しない場合の掲示がなく、患者の意向が確認できないもの）

⑧ その他

a.「食物アレルギーの疑い」に対する特異的IgE半定量・定量検査の算定について
病歴のみでは診断を確定できず、所見や問診等から食事が原因と判断した場合の確定診断を行うための算定は可。

b.「若年性特発性関節炎（疑いを含む）」に対するフェリチン半定量検査は診断や経過観察中でも算定は可。

c.「ウイルス性肝炎の疑い」という病名ではHBs抗原定性・半定量検査、HBc抗体半定量・定量の算定は不可：病名は「B型肝炎」とする

d.初診時に肝機能障害で受診した患者に対して、「肝機能障害」であればHBs抗原の算定は認める。HBs抗体は「B型肝炎（疑いも含む）」の患者であれば認めるが、「肝機能障害の疑い」では認められない。

e.初診時の高血圧症の患者に対して、レニン活性とアルドステロン活性の検査を行う場合、二次性高血圧症の疑い（具体的には原発性アルドステロン症の疑い、褐色細胞腫の疑い、クッシング病の疑い等）の記載が必要である。一方、カテコラミンについては初回からの算定は難しいとの意見があった。

f.上部消化管内視鏡検査時のベンゾジアゼピン系鎮静剤（サイレース、セルシン、ミダゾラム等）やオピオイド系鎮静剤（ペチジン塩酸塩等）の単独使用は認めるが、併用は認めない。
下部消化管については症例により併用を認めるが、症状詳記が必要。
原則的にベンゾジアゼピン受容体拮抗薬であるフルマゼニル（アネキセート）や麻薬拮抗剤である塩酸ナロキソン等のリバースに使用する薬剤については認めない。
但し、ミダゾラムを用いて鎮静を行なった場合は、リバースに使用する薬剤についても令和５年２月から認められている。

g.胸部打撲にて胸痛を訴える患者について、胸骨及び胸部を別部位として撮影し算定したとき、胸骨については「胸骨骨折疑い」等、胸部については「血気胸」等の病名が各々ある場合は別算定可能である。

※保険診療上の留意事項（令和５年１１月版）（埼玉県医師会）も御参照下さい。